

発行所 三池炭鉱労働組合 大牟田市不知火町2 電話 3033番 3034番 編集兼人 山下 開 発行人 山下 開 年間600円 送料共

歴史の前進は、これを阻む力との闘争を通じてしか行なわれない。

会社の責任を追及し CO問題を強めよう

政府独占ねらいは「不変」

全員決意を固め確認

臨時総会

去る十一月二十四日、総評・炭労・三池労組と労働省間で交わされた「了解事項」を討議する臨時総会が、二十七日、十五時から四山講堂で開かれた。総会には、組合長の経過報告なども行われ、熱心な討議の後、了解事項を確認した。次は総会での代表委員の意見をまとめた。

甘いムードに
だまされるな

三川 堀川代議員

労働省の今回の譲歩は、われわれの扱ってゆかたかいかのものが、一見甘いムードで押えようとしているわけがある。四百五十八名を殺し、その後からけられて各職場の合理化攻撃をよりの一層推進するための攻撃を安易にみせてはならない。私

たちはCO問題を現場のたたかいと結合させて、CO特別立法の内容を本気で勝ちとろう。いまからが本場のたたかいです。

殺人合理化に反対

本所 伊藤代議員

今回の政府の妥協は、この了解事項をきかずに「解決した」と宣言し、反合理化闘争の扱がりを封じようとするものである。政府独占の殺し、傷つけて放りだすねらいは不変である。

これで終わったという印象を与えない。十一月二十五日、七百三十八名のガス患者に労務補償打切りを組合へ通告。二十六日、個人へ通告

主張

十一月二十七日、臨時総会に於いて、CO問題の今後の方針を塚元書記長の提案に基づいて次のように確認した。

CO問題を

反合同闘争の中心に

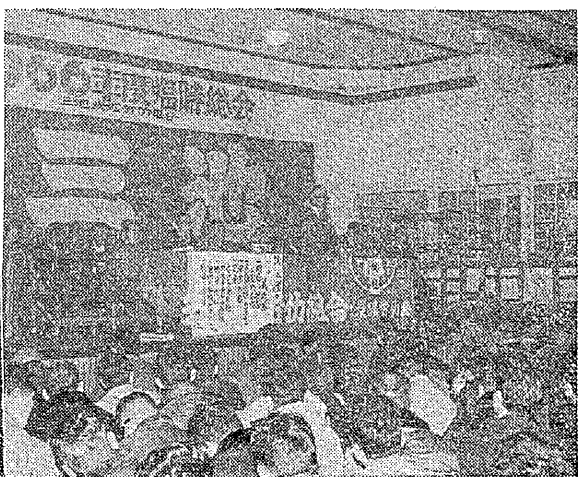
「CO会社、政府の今回の労務打ち切りは、一月二十七日の了解事項、六月の国会決議を無視した、ヤミ打ちの攻撃である。しかしこれは、表面上みれば常套手段にかけられた攻撃であるが、こゝまでしなければならなかった敵側の矛盾の一面のあらわれである。

今回の労働省との交渉の結果、結論に達した覚書は、表面上は政府が一応後退した形となっている。

が、現在の国家独占資本は、今回のヤミ打ちにもみられるように、再度打ちがちな攻撃をかける。この力は独占資本を後退させることには必要である。

この後退を与えたのが方の組織はどうであったか。組合員、主婦、労働者の闘いは今後も引き続き反合同闘争の中心にすえ、闘いのなかにもこの問題を正しくとらえ、署名、カンパ、ピラなどにより、診断に組合側の医師を加えたこと、三池医療委員会が政府と一体となって、ガス患者の悲惨な

この五項目の意志統一の上で、われわれはCO問題を反合理化闘争の中心にすえ、闘いのなかで政府、独占資本と三池医療委員会の本質を暴露し、CO特別立法を闘う。



上—臨時総会
下—座り込み解散大会

基本姿勢は変わらず

座り込み解散大会

十一月二日職場復帰通告書、会社へ返上に行き、会社は受け取りを拒否したのでそのまま社長室に座り込みをつづけていたガス患者家族の会は、二十七日臨時総会終了後、中央委員

立派な三池労組員に

決意をのべる復帰者

十一月二十七日、臨時総会において新労組を脱退し、三池労組に加入した官浦支部、仕操工、福田洋さんと、同支部、採炭工、松永さんが紹介された。

福田さんは総会の席上つぎのように決意をのべた。「三池労組に加入する決意をしたのは、職場で三池労組員の正しいたたかきを目で見て、耳で聞いてきたため、多くの意見をもちつたから。CO問

私にも一言

オルグ民泊について

私にも一言



最近みいけに、オルグ民泊についてと書いてあります。いりやうな書けるか、ハガキすくんだらなら人も沢山います。来組後の交流がどなたかプラスになるか、オルグにきた人なら解ると思ひます。

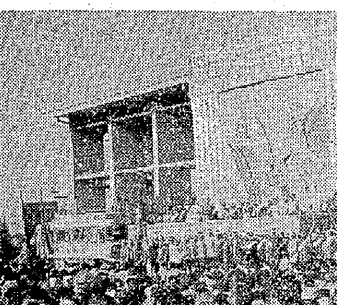
「物価値上げ反対、一酸化炭素中毒患者、遺族の生活と権利を守る全九州国民五万人大集会」は十一月二十七日、午前十一時から延命公園で開かれた。

CO問題に怒り

物価メーデー

「物価メーデー」は、今春に於いて二回目、二十七日には全国各地でメーデー規模で、物価値上げ反対、腐敗政治追放、秋闘を勝利させ、労働者生活向上の目標をかかげて統一大会が開かれた。

九州ブロックは、大牟田で、九州各県代表者を含めた三万人の労働者が集まり、CO患者家族の訴えに対してCO一酸化炭素中毒患者を守るためなど、決議された。集会終了後、三池鉱業所前で抗議デモを行なった。五月橋までデモ



席上CO闘争の意義を訴える家族の会の皆さん

三池労組に来るオルグは、闘いの生活の実態を自分の眼で見、闘いながらも奮闘しよう。